

iPodを活用したハンディタイプの端末利用でスピーディーな飲食提供を実現

(株)スターランド「スーパースター」導入店レポート

全国のレジャー・サービス施設で導入が進む「スーパースターシリーズ」

(株)スターランドが開発・販売するフロントPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスをはじめ、温泉施設や複合カフェ、キッズランド、飲食店、パブ、ホテルなど、アミューズメント施設向けに12バージョンがラインナップされている。セルフオーダー端末「スーパースターNAVI」をはじめ、多彩なオプションを活用できることも魅力で、全国のさまざまなレジャー・サービス施設に導入され、納入実績では実に2,500件を超えるヒットシリーズとなっている。

「カラオケステーション北千住店」

スタッフに iPod を携帯させ、オーダーのタイムロスを解消

JR常磐線をはじめ、東京メトロ、つくばエクスプレス、東武スカイツリーラインの各線が乗り入れ、東京・足立区を代表する北千住駅。同駅から徒歩約7分の日光街道沿いの複合商業ビル・マルアイビル2階で営業を行なうのが「カラオケステーション北千住店」(19ルーム)だ。



ルーム内はゆったりとした空間が確保されている「カラオケステーション北千住店」

同店は今年3月下旬、フロントPOSシステム「スーパースター」を導入した。その経緯について、運営を行なう(株)アグネスの金森正剛店長は次のように語る。「これまで他社のPOSシステムを長年使用してきましたが、飲食オーダーの効率化を図るため、新たなシステムの検討をはじめました。『カラオケエンターテイメント』誌に掲載されたスターランドさんの記事を読んで資料を取り寄せ、他社のPOSシステムと比較検討した結果、スーパースターに決めたのです」。

新システム導入にあたっての最大のポイントは、店舗スタッフが持ち歩きできるハンディタイプの端末を利用したオーダーシステムの構築にあった。「お客さま自身で操作を行なうセルフオーダーシステムも検討しましたが、端末の破損等のリスクを考え、スタッフがポケットに入れて携帯できるiPodを導入しました」と金森店長は語る。システム導入の決定に際しては他の製品も候補に上がったが、豊富な導入実績があってシステムの信頼性が高いこと、価格が妥当であること、メンテナンスサービスなども考慮して、スーパースターに決定した。

実は今回のPOSシステム変更は、料金システムを周辺の競合店に準じワンドリンク制へ切り替えるのに合わせて実施したもの。客をルームに案内したその場でドリンク等のオーダーが受けられるよう、iPod端末を採用したのである。スピーディーな飲食提供により、オペレーションの効率化と顧客満足度のアップを同時に図るのが狙いであった。



客をルームに案内し、iPodでオーダーを受ける



カラオケボックスで豊富な導入実績を誇る「スーパースター」は信頼性も高い

スーパースターを導入して4か月余りが経過したが、実際に使用しての感想を尋ねると、金森店長は次のように語る。「スターランドさんは、正式稼働の1週間前からスーパースターを納品してくれたので、スタッフはロールプレイングが十分にできました。そのおかげでオペレーションの移行がスムーズとなりました。『オーダーが遅い』といった飲食のクレームはいっさいなくなり、スピード感をもって飲食を提供するという点でも、お客さまに満足いただいています」。

問い合わせ先

(株)スターランド
〒426-0037 静岡県藤枝市青木3-14-1
☎ 0120-007-009
FAX.054-644-5034
URL.<http://www.starland.co.jp>